





5歳児クラス 6月 第2回 「ともだち」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

読み方	<ul style="list-style-type: none"> 短いコトバで表現されているが、主人公の心情がしっかりと伝わる絵本。今回の絵本は、間で言葉を挟まずに最後まで読みすすめる。 今回の活動では「あったことがなくても」は読まなくてもよい。 	教材	
		<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット) 	
導入	<ul style="list-style-type: none"> 「友達ってなんだろう？皆は友達いるかな？」等問いかける。「ともだち」を意識させる…クラスの子どもの名前をみんなで呼ぶ等 導入として、先生のお友達とのエピソードなどを入れても良い。(重いものを1人で持っていたら一緒に持ってくれた…等) 「どんなお友達がいるかな、読んでみよう」等でお話に繋げる。 	保育士の役割	
		<ul style="list-style-type: none"> • 子どもの一員になりお話を聞く 	

がくしゅうタイム

活動①	生活	自分だったらどうするか、お友達のことを考える意見を話すことができる	
設問	こんな時、あなたは どうしますか。		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 保：「背中がかゆいかゆい、でも届かない…」と、困った様子で登場。 		教材 P 1
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「ここかな？かいてあげるよ」等のやり取りを見せる。 例)「重いな〜」「一緒にもってあげる」「ありがとう」「プリントを落としてバラバラ…」「一緒に拾ってあげる」「ありがとう」等プリントを始める前に、講師と保育士でやりとりを見せる。 一人では大変なことも「ともだち」がいることで簡単になったり、楽しくなったりすることを知る。 プリント配布。それぞれの絵について、状況を言い、あなただったらどうするか、個々に聞いていく。いろいろな意見がでるように促していく。 		保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> • 困った様子で登場 • プリント配布 • 子どものフォロー • 意見を言う
活動②	書く	自分のサイン（名前・マーク）を書き、友達のサインをたくさん集めることができる	
設問	友だちのサインを（名前・マーク）集めましょう。		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 保：「すみません、サイン集めをているので、名前を書いてください」と、プリントと鉛筆を差し出す。 		教材 P 2 ★鉛筆
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「はい、わかりました。」等で、プリントに自分のサイン（名前・マーク）を書く。 やり方の見本を見せて、子ども達も練習する。 「名前を書いてください」と、自分から声をかけて自分のプリントにサイン（名前やマーク）を書いてもらう。隣のお友達と練習する。出来たら椅子から立ち、いろいろなお友達に声をかけて書いてもらう。 自分もお友だちのプリントにサイン（名前・マーク）を書く。 何名でもよい。書けない場合は講師や保育士がフォローする。 		保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> • プリントを持って登場 • サイン大会に参加する • 子どものフォロー

数チャレ	ねらい	数 サインの数を数えることができる	教材
設問	サインの数を数えて、四角にその数を書きましょう。		P2 ★鉛筆
活動内容	指でしっかりおさえながら、数えて数字を四角に書く。 数字が書けない子にはフォローする。		保育士の役割 ・子どものフォロー

※次回の授業で手鏡を使用します。園にて準備をお願い致します。(保護者の方に各自持参をお願いしても良い)